



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和5年12月15日発行第10号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 校長 丹野 哲也

笑顔 あふれる多摩桜祭

校長 丹野 哲也

道路から正門にアプローチする花壇には、冬から春にかけて私たちを楽しませてくれるパンジーやビオラなどのお花が、生徒により植え付けられる時季となりました。

先月の多摩桜祭には、2日間で795名の保護者、御家族の方々の御来校がありました。本当にありがとうございました。生徒実行委員会が考えた今年のスローガンは、「笑顔 あふれる多摩桜祭」でした。オープニングで、校長からは「笑顔はどういう時になりますか？」と児童・生徒へ問いかけをしました。即座に児童・生徒から「嬉しいとき」、「楽しいとき」など、元気な回答が返ってきました。更に、校長から「お友達や人から優しくされたり、温かくされたりしたとき笑顔になりますか？」と聞いてみました。児童・生徒は、そばにいる友達の顔を見合わせながら、頷いていました。続けて、「笑顔、あふれる多摩桜にするためには、児童・生徒の皆さんの協力が必要です。保護者、御家族の方々を温かくおもてなしする気持ちでお迎えしましょう！」とメッセージをお伝えしました。

振り返ってみますと、コロナ禍の中、人と人が接しながら「笑顔」になる機会が少なくなっていたかと思えます。

今年の児童・生徒が決めてくれたスローガンは、児童・生徒自身が経験してきた、素直な気持ちが端的に表れていたと感じています。

○地域交流校と「SDGsの森@多摩桜祭」発表！！

今年度は、昨年度作成したSDGsの樹に花を咲かせました。花びら一枚一枚には、SDGsの17の目標に関連した、児童・生徒及び御家庭で取り組む具体的な行動などが記してあります。

本校の交流校である、連光寺小学校3年生、聖ヶ丘小学校3年生、北諏訪小学校5年生、聖ヶ丘中学校1年生、都立永山高等学校の図書委員会生徒に呼びかけ、樹も2本増え「ESDの森」としてパワーアップしました。この取組について、花びらに前向きな様々な提案が添えられているのを見てとても嬉しく思いました。

地域交流校には、毎年作品展示も御協力いただいています。北諏訪小学校の総合的な学習の時間で作成した「ユニバーサルデザイン」については、「誰も取り残さない」というSDGsの理念を一生懸命考えた成果が表れていました。ユネスコスクールとなっている、多摩市の小・中学校の継続した学習成果であると感じました。

また、作品の交流を通して、本校の児童・生徒も大きな刺激となりました。今後とも、地域交流校と様々な交流を更に充実できるよう取り組んでいきます。



オープニング
開会宣言
司会進行



ESDの森交流校分



北諏訪小学校展示